

登録コード	HM119200	開講年度	2026			
授業題目	泌尿器科腫瘍学特論				担当教員	秋山 佳之 他
英文授業名	The diagnosis and treatment of urological cancer				副担当	皆川 倫範・齊藤 徹一
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	講義	備考	postgraduate students
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加					
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能				泌尿器癌についての診断、最新の治療について学ぶことで泌尿器癌の実臨床についての技能を獲得し実践できるようになる	
(2)詳細/Detailed information	泌尿器科腫瘍の診断および治療について日本泌尿器科学会のガイドラインに習熟すること。実臨床についてのディスカッションを行う。腹腔鏡、ロボット手術治療を実施できる技能、知識を習得し、実臨床の手技に活用できるようになる					
(3)授業の概要/Overview of course	泌尿器科腫瘍の腎がん、膀胱がん、前立腺がんについて、日本泌尿器科学会より上梓されているガイドラインにそった治療法を実臨床（診断方法、治療）を含めて学習する。腹腔鏡、ロボット手術の実際を実臨床で指導する。					
(4)授業計画/Course plan	実症例をもとに現在の診断治療についてディスカッションを行う。 外科手術においては手術動画・ビデオを参考に術式について解説し、術式の重要なポイントについて視聴しながら解説、指導する。 ポイントとなるべき症例について症例報告の形でレポートを提出していただき理解度を確認していく。					
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	年度末に症例レポートを提出し、その内容によって成績評価を行う。 i) 症例における問題の設定が適切であり, (ii) その問題の背景を説明できており, (iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており, (iv) それらの課題に対して既存の診断治療が適切か把握できており, (v) その上で自分の見解を提示できており, かつ, 教員を感心させるレベルにあれば「卓越している（秀）」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある（優）」。4項目までできていれば「やや上にある（良）」。3項目までできていれば「水準にある(可)」。					
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	Campbell's Urology, Hinmann Urology、前立腺癌診療ガイドライン、膀胱癌診療ガイドライン、腎癌診療ガイドライン（日本泌尿器科学会）、EAUガイドライン、AUAガイドライン、NCCNガイドライン					
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	泌尿器科医局へ連絡ください 電話：0263-37-2661					
(8)授業の形式/Course format	手術内容によっては他医師からの指導もふくめるのでオムニバス形式とする					